

思春期セミナー

子どもの発達と文化

～日本の心理職とオランダの心理職の違いから～

趣旨

思春期は、個人差が拡大すると同時に、文化差も拡大するといわれる時期です。今回のセミナーでは、日本でも臨床心理士として、教育現場（教育相談所）で心理士の経験をもち、現在オランダでも心理士として活動されている森香奈子さんを迎え、日本とオランダの教育の違いと、心理職が果たす役割の違い、またその養成課程の違いなどをご講義いただきます。また併せて、日本人が外国で暮らすということの面白さや難しさについてもお話しいただきたいと思っています。留学などをお考えの方にも役立つお話になると思います。

講義を通して、思春期の様々なあり方とそれへの関わり方への理解を深めたいと思います。関心のある方はどなたでもご参加下さい。

講師

森香奈子さん (U-Center Mental health psychologist)

東京都の足立区の主に教育相談所で心理職として学校現場の問題に取り組んできました。その後、結婚を機に、オランダに移住し、現在、オランダの U-Center Mental health で、留学生などのカウンセリングに従事されています。

日時：2018年3月1日（木）18:00～21:00

18:00～20:00 講演（スピーカー 森香奈子氏・司会 加藤弘通）

20:00～21:00 討議・助言（話題提供 岡田智・司会 加藤弘通）

場所：北海道大学教育学部附属 子ども発達臨床研究センター C302

連絡先（お問合せは以下のアドレスに）

katou@edu.hokudai.ac.jp

責任教員

加藤 弘通 （北海道大学大学院教育学研究院・准教授）

岡田 智 （北海道大学大学院教育学研究院・准教授）